

投信概況 (2025年10月)

2025年11月

モニタリング&エバリュエーションチーム

藤原 崇幸

本稿では、ETF を除く国内籍公募追加型株式投資信託について資金動向をまとめた。図表 1 に純資産総額と純流出入額の直近 1 年間の推移、図表 2 に当月（2025 年 10 月）の GW 大分類別資金動向、図表 3a に GW 大分類別の純資産総額シェア、図表 3b に当月の GW 大分類別純流出入額を示す。

なお、本稿で示す純流出入額のうち、当月分は当社の推計値、その他の月は投資信託協会の公表値を使用した。

～当月の純流入額は前月に続き 1 兆円台を維持、純資産総額は 168 兆円と過去最高をさらに更新～

当月を振り返ると、高市早苗氏が自民党新総裁、新総理に選出され、トランプ米大統領訪日では日米の強固な同盟関係を内外に示した。このような中、日本の株式市場は大幅高で、ハイテク・値嵩株の寄与が大きい日経平均株価は前月末比 7,000 円以上の上昇となり、月末終値は 5 万 2,411 円と、終値ベースで史上最高値を更新した。良好な市場環境の中、当月末のファンド全体の純資産総額は、前月末から 9 兆 5,555 億円増の 168 兆 6,806 億円となり、過去最高を更新した。また、当月の資金フローは 29 カ月連続の純流入で、純流入額が 1 兆 2,502 億円となり、前月に続き 1 兆円台を維持した。

資金動向を GW 大分類別¹の純資産総額の推移でみると、国内外の株式を中心に純資産総額は前月から大幅な増加となった。最も増加額が大きかったのは「グローバル株式（ヘッジなし）」で、純資産総額は 6 兆 1,285 億円増の 95 兆 8,090 億円であった。また、純資産総額の増加率が最も高かった「コモディティ」は 3,122 億円増の 2 兆 5,636 億円となり、2024 年 12 月以降 11 カ月連続で純資産総額が増加している。

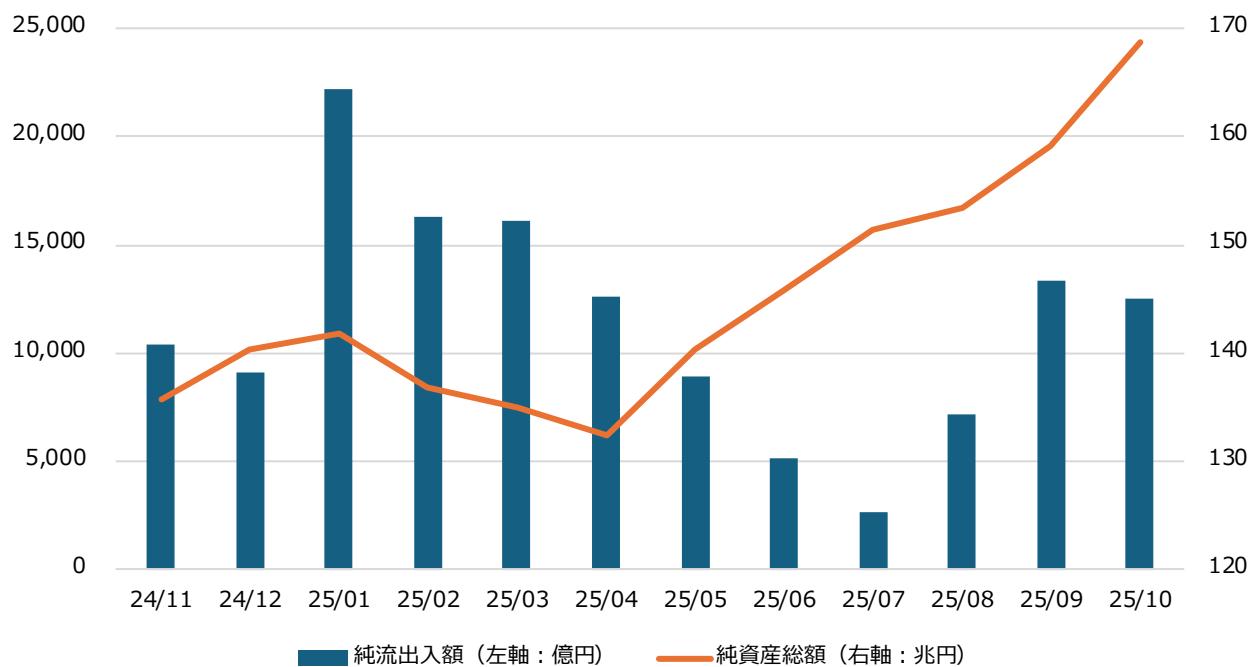
純流出入額でも「グローバル株式（ヘッジなし）」が 64 カ月連続の純流入と引き続き好調を維持し、当月の純流入額は 8,071 億円であった。「グローバル株式（ヘッジなし）」をさらに細分化した集計では、インデックスファンドへ 6,879 億円の純流入と分類内で相対的に高水準の流入を継続している。一方、米国株式に投資するアクティブファンドは 3 カ月ぶりに純流出となった。また、金に投資するファンドには継続的に資金が流入していることから、「コモディティ」は 2,015 億円の純流入となった。

当月の個別ファンドの資金流入ランキングをみると、常連となっている海外株式に投資するファンドのほか、割安度に着目した国内株式に投資する新規設定ファンドにも 1,000 億円を超える純流入がみられた。

¹ SMBC グローバル・インベストメント＆コンサルティングが独自に定めたファンド分類のこと。すべての国内籍追加型株式投資信託を対象とし、目論見書の記載事項をベースに、投資対象、投資地域、運用方針、投資手法に着目して分類を行っている。

【SGIC リサーチレビュー】

図表 1 純資産総額と純流出入額の直近 1 年間の推移（月末基準）



(出所) 投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

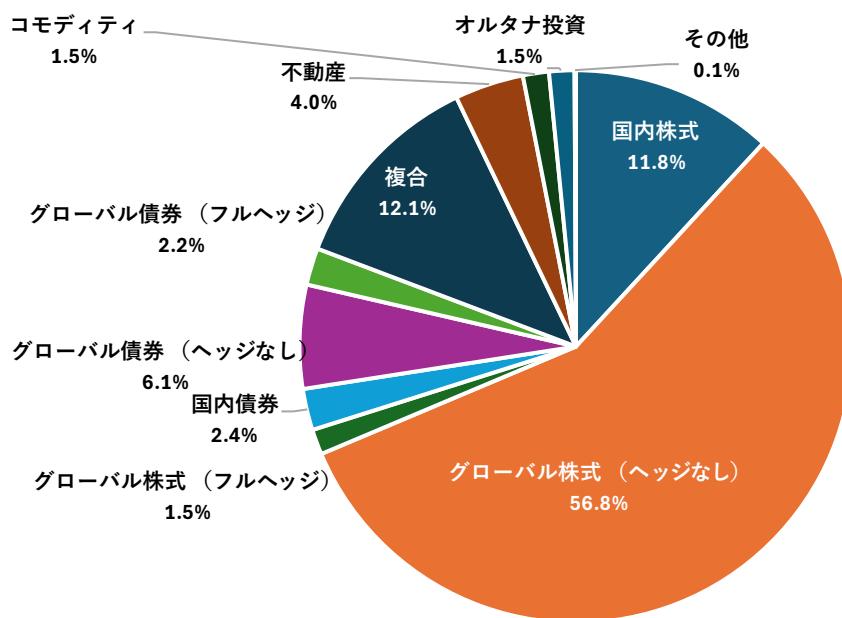
図表 2 2025 年 10 月の GW 大分類別資金動向（億円）

GW大分類	純資産総額				純流出入額 25/10
	25/09末	25/10末	増減額	増減率	
国内株式	184,438	199,760	15,323	8.31%	1,050
グローバル株式（ヘッジなし）	896,805	958,090	61,285	6.83%	8,071
グローバル株式（フルヘッジ）	24,741	24,919	178	0.72%	-375
国内債券	39,387	40,854	1,467	3.73%	1,391
グローバル債券（ヘッジなし）	98,701	102,348	3,647	3.70%	87
グローバル債券（フルヘッジ）	36,311	36,409	99	0.27%	-32
複合	196,210	204,343	8,134	4.15%	1,086
不動産	67,089	68,102	1,013	1.51%	-437
コモディティ	22,513	25,636	3,122	13.87%	2,015
オルタナ投資	23,737	24,948	1,212	5.10%	-323
その他	1,320	1,396	76	5.76%	-31
合計	1,591,251	1,686,806	95,555	6.01%	12,502

(出所) 投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

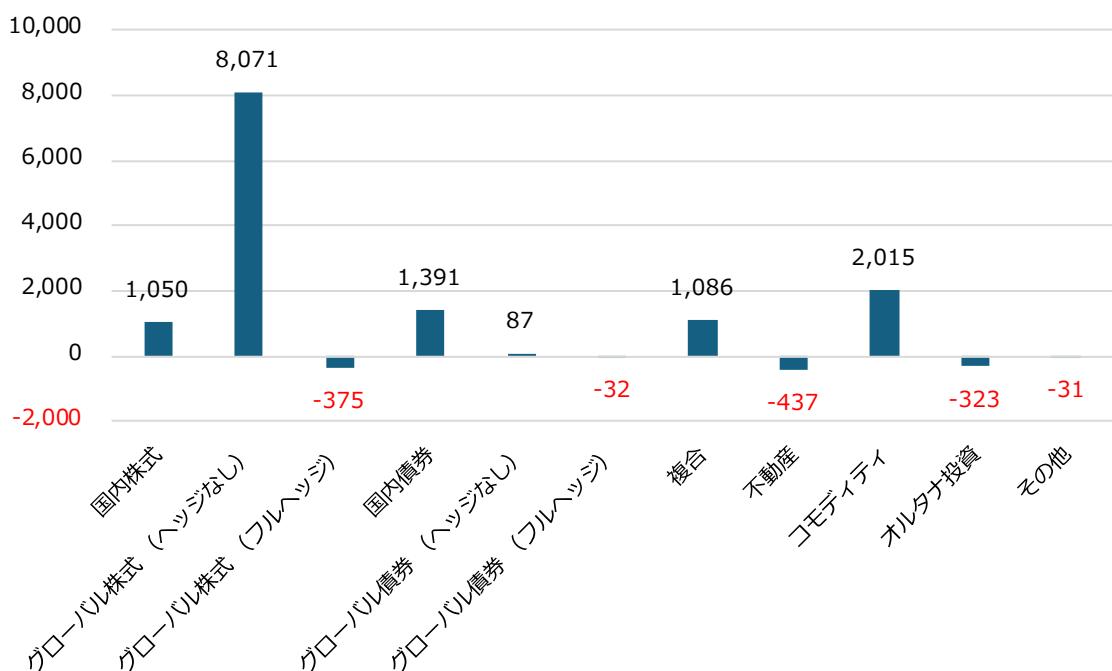
【SGIC リサーチレビュー】

図表 3a GW 大分類別の純資産総額シェア（2025 年 10 月末基準）



（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング作成

図表 3b 2025 年 10 月の GW 大分類別純流出入額（億円）

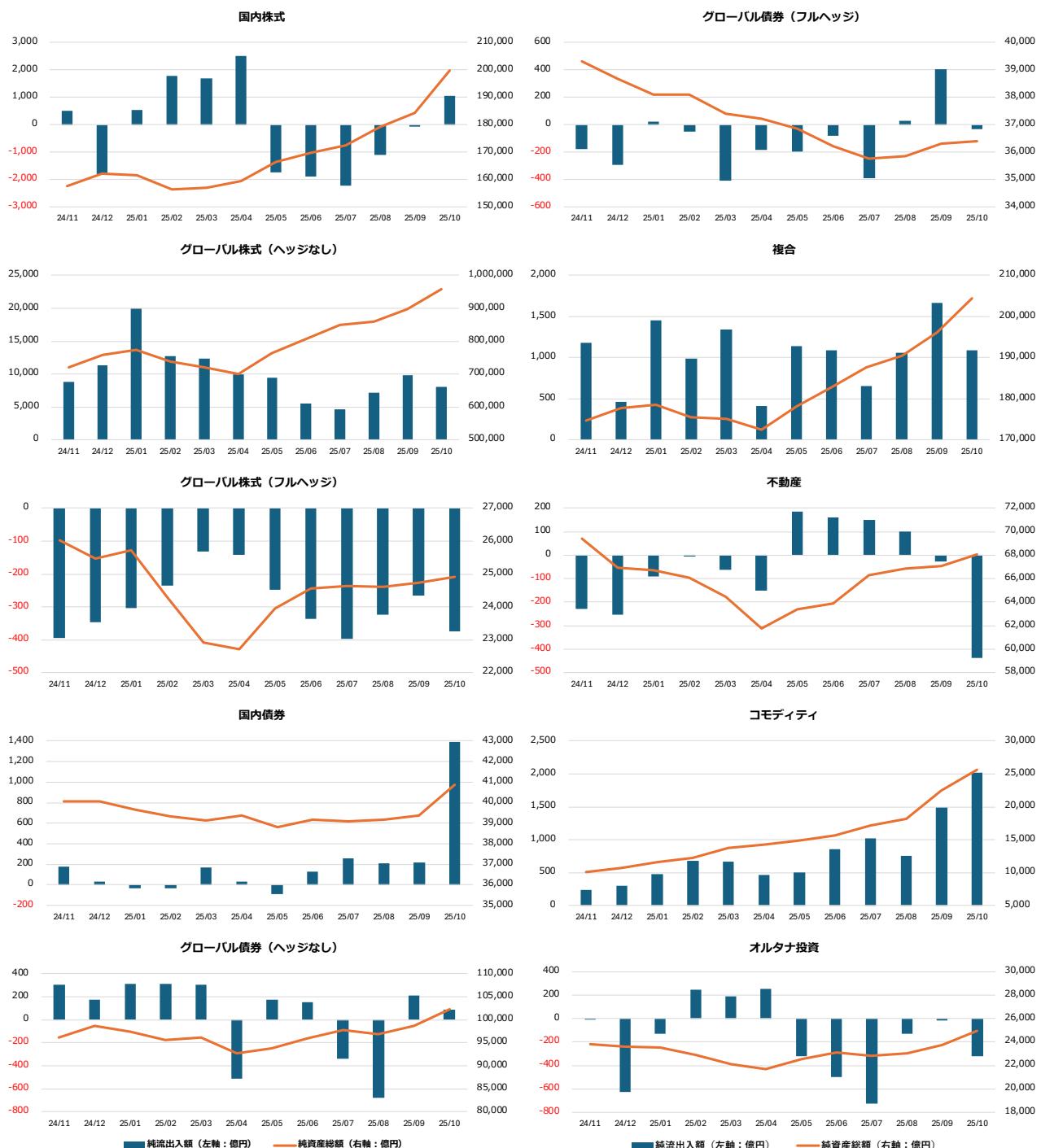


（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング作成

【SGIC リサーチレビュー】

Appendix

図表 I GW 大分類別の純資産総額と純流出入額の直近 1 年間の推移（月末基準、億円）



(出所) 投資信託協会より SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティング作成

【SGIC リサーチレビュー】

図表Ⅱ 2025年10月の純流入ランキング10

No.	ファンド名	運用会社	純資産総額 (億円)	純流出入額 (億円)	NISA つみたて	成長
1	eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）	三菱UFJアセット	82,758	2,085	○	○
2	インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	インベスコ	28,679	1,432		
3	eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）	三菱UFJアセット	92,552	1,424	○	○
4	野村日本バリュー厳選投資	野村アセット	1,183	1,146		○
5	日興FW・日本債券ファンド	三井住友DS	6,599	1,104		
6	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）	フィデリティ	5,850	944		
7	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし）	ピクテ	6,859	937	○	
8	ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド（為替ヘッジなし）	三井住友DS	3,557	604	○	
9	iFreeNext FANG+インデックス	大和アセット	9,615	568	○	○
10	WCM 世界成長株厳選ファンド（予想分配金提示型）	朝日ライフ	1,409	371		

（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング作成

図表Ⅲ 2025年10月の純流出ランキング10

No.	ファンド名	運用会社	純資産総額 (億円)	純流出入額 (億円)	NISA つみたて	成長
1	あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2023-07	あおぞら	146	-333		
2	グローバル・エクスパンシャル・イノベーション・ファンド	アモーヴァ	3,264	-295	○	
3	アライアンス・バーン斯坦・米国成長株投信Bコース（為替ヘッジなし）	アライアンス	18,778	-204	○	
4	グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）	アセットOne	10,914	-191	○	
5	グローバル・プロスペクティブ・ファンド	アモーヴァ	4,120	-172	○	
6	あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2023-10	あおぞら	158	-171		
7	フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース（為替ヘッジなし）	フィデリティ	9,054	-168	○	
8	SBI 日本株4.3倍ブル	SBI	499	-145		
9	楽天日本株4.3倍ブル	楽天	704	-139		
10	日経225ノーロードオープン	アセットOne	3,427	-139	○	

（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング作成

(END)

【SGIC リサーチレビュー】

本資料について

【免責事項】本資料は情報提供を目的としてSMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社(以下「SGIC」といいます)が作成したものであり、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づき作成されていますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に示された見解や予測は、資料作成時点でのものであり、事前の通知なしに変更することがあります。本資料は SGIC の著作物です。ただし、本資料で使用している指標等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指標等の開発元または公表元に帰属し、SGIC による当該指標等の使用について当該開発元または公表元は一切責任を負いません。詳細は <https://www.smbc-gic.co.jp> でご参照いただけます。投資に関する最終的なご判断は、お客さまご自身でしていただきますようお願い申し上げます。なお、本資料で使用したグラフおよび数値は、過去の実績であり、将来の結果を約束するものではありません。

【SGIC が行う金融商品取引業に係る留意事項】 SGIC は投資一任業務及び投資助言業務を営んでいます。SGIC が、投資一任契約に基づき投資する及び投資顧問契約に基づき助言を行う金融商品または金融派生商品は、金利・通貨の価格・金融商品市場における相場その他の指標の変動により損失が生じる恐れがあります。

変動要因としては、有価証券等の価格変動リスク、金利や金融市場の変動リスク、十分な流動性の下で取引が行えない流動性リスク、有価証券等の発行体の信用リスク等、及び外貨建て資産に投資している場合には為替変動リスクがあります。したがってお客さまの投資元本は保証されているものではなく、金融商品等の価値の下落により、投資元本を割り込むことがあります。

投資顧問契約及び投資一任契約に対する報酬(投資顧問報酬)は総契約資産額等に対して最大年率 0.880%(税込)、契約に基づき成功報酬が発生する場合があります。また、お客さまがご購入いただく金融商品において手数料や間接的に負担する費用等が発生する場合がありますが、これらについては、お客さまとの契約内容によって異なりますので、事前に表示することができません。

投資顧問契約等を締結される際には、事前に契約締結前交付書面等をよくご覧下さい。

商号等 SMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 449 号
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会



SMBC
GLOBAL INVESTMENT & CONSULTING